

# KOCHI ROTARY CLUB

2020  
2021

SINCE 1937



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度 RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3453回

2021年3月9日 2021年3月16日発行

### ● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。3月も第2週になりまして、間もなく10年目の節目となる3月11日がまいります。まだまだ厳しい状況も続いているようですが、1日も早い復興を願っています。一方で、明るい話題としては、3月12日から女子のプロゴルフトーナメント、明治安田生命レディースが開催されます。ホステスプロの勝みなみ選手、渋野日向子選手などが出場予定で大変楽しみなところです。



さて、首都圏の1都3県では緊急事態宣言が延長されました。私事ですが、今回のコロナ禍では、会社の仕事の仕方も大きく変化をしました。代表的なものがオンライン会議です。当社は主にユリの球根を外国から輸入して国内の花産地に納める仕事をしており、仕入業務がとても重要な役割になります。今までは、年におよそ60日から70日ぐらい、高知にお越しいただいたり、こちらから訪問するなど行き来をして、情報収集や意見交換を基本に仕事を進めてまいりました。ところが、去年の4月から一切の人の往来がストップ

しました。その代わりに始まったのがオンラインミーティングです。最初は手探りでしたが、今ではそれが当たり前になって致命的な支障もありません。

このベースになるのが、去年までの情報の蓄積と何十年もかけて築いてきた信頼関係があると思いますが、業務の方は画期的に簡素化されました。また、ニッチな業界ですが、従来は年何回かどこかに集まり数時間の会議の後、懇親会を開いていました。これも当面オンライン会議に置き換わったことにより、時間と費用が大幅に節約されました。やがてポストコロナという時代も来るのでしょうか、私は、完全な形でコロナ前のように戻ることはないと思います。

これからは、人が集まる、人が会うことの必要性とか重要性といったことを考えながら会議などが開かれていくでしょうが、人と人が触れ合うこと、友情を深めること、親睦を深めること、そういったことを大切にこれからも仕事を進めていきたいと考えています。

本日の卓話は岡村文具の森本様による、さらに進んだテレワークについてお話を伺います。今日的な話題で楽しみです。



### ■ 本日のプログラム [ 3月16日 ]

ゲストスピーチ

井上ワイナリー(株)

営業部長 梶原 英正 氏

「ぶどう栽培からワイン造りにかける思い」

会 長	中 村 裕 司
副 会 長	入 交 章 二
幹 事	関 雅 文
副 幹 事	中 澤 清 一
会報責任者	隅 田 和 稔

● **ロータリーソング** 「奉仕の理想」

● **来訪ロータリアン**

高知北RC 岡村憲男氏



● **ゲストスピーチ**

**業務効率を落とさない  
テレワーク環境構築方法**

株岡村文具 ワークプレイスデザイン事業部 チーフ 森本 悟史 氏

株式会社岡村文具は昭和5年に創業、今年で91年を迎えます。従業員は20名。事業内容はオフィス環境のトータルなご提案と観光案内所・地域ポータルサイト・シェアオフィス・貸会議室などの運営を行なっています。最近では名前にある文房具は、売上シェアの10%もないぐらいで、多いのはオフィスのレイアウト変更に伴うオフィス家具・什器の提案・販売、ノベルティ、防災ソリューション、セキュリティ、事務所内のネットワークの構築、オフィス用品のOA機器、ICTツールの提案・販売・サポートといったところがメインになっています。



高知県内企業の「業務デジタル化」対応状況について、2020年11月から12月の調査によると、リモートワークの導入21%、ウェブ会議の導入49%、営業活動（商談）のオンライン化21%、採用活動のオンライン化18%、受注・販売のオンライン化31%、社内手続きの電子化22%、社外取引文書の電子化18%、基幹業務システムのクラウド化23%、銀行業務のオンライン化66%、サテライトオフィスの設置2%というように、いずれもなかなか進んでいない状況です。

テレワークとはICTを活用して会社から離れた場所で働く柔軟ワークスタイルのことで、在宅ワークやモバイルワーク、サテライトオフィス勤務などはテレワークに含まれる概念で、リモートワークとテレワークはほぼ同義です。

テレワーク導入における経営者の不安や悩みとしては、社員が在宅でサボらないか。会社にはないと確認できない書類・データを扱う業務はどうするか。コミュニケーション減少で業務に悪影響が出ないか。在宅ワークの場合の就業規則はどうするか。情報漏洩のリスクはないか。ICTツールは何を使えばいいかなど様々あると思いますが、テレワークを阻む一番の要因は経営者のマインドだと考えます。経営者がテレワークのメリットに目を向けて、興味関心を持つこと。同じ空間や時間を全員で共有することを良しとする価値観を見直さなければいけない時代になっています。そういった悩みや不安を飛び越えて、新しい働き方に取り組むことによって、離職の防止、社員満足度の向上、オフィスコス

トの削減、採用エリア拡大、生産性向上といったことにつながっていくと思います。

例えば、離職の防止については、仕事は続けたいが高齢者の介護をしないといけないといった方に、その方に合った働き方を提案することで優秀な人材を失わずに仕事を続けてもらうことができますし、こういったことが社員満足度向上にもなると思います。採用エリア拡大では、弊社で「テレワーク可」ということで求人をかけたところ、県外からの応募も多く、驚いたのはアメリカに住んでいる日本人の方からの応募もありました。また、テレワークをするに当たって、必然的にICTツールを活用していかなければいけませんので、それがひいては生産性向上につながりますし、基本的にICTツールというのはクラウドのサービスになっていきますので、クラウドを取り入れることによってBCP対策にもつながっていきます。今回の新型コロナウイルスへの緊急対応ではなく、これを機にテレワーク導入に取り組んで、業績アップに繋がるワークスタイルへと変革していくことが理想の考え方ではないかと思います。

テレワークを実施するとなると、多くの方が「全員で、週5日で、全ての業務を」と考えがちですが、これはかなりハードルが高いため、まずは1人のモデル社員としてテレワークをやりたい人、テレワークをすることでメリットが得られる人、前向きに、課題を乗り越えていける人からスタートし、成功例を作って横展開していく。そして週1回、一部の業務から取り組んで徐々にテレワークで実施できる業務を増やしていくなど、やりやすい方法から取り組むことが必要です。さらに、社内に考え方を伝えることが大事です。会社には様々な価値観の人がいて、新しい働き方に取り組むとなれば反対意見が出るのは当たり前です。そこはしっかりと経営者から、なぜテレワークに取り組むのか、取り組むことによって、これからの働きかたがどう変化するのか、結果として会社の業績をあげていくためにやるんだという、しっかりとした考え方を伝えていく必要があります。

次に、テレワークの対象業務の決定については、まず業務を三つに分類します。一つは現状でテレワークのできる業務、例えば入力作業、資料作成、企画立案など。二つ目は今は実施できない業務、例えば紙の伝票の入力、打ち合わせ、来客の対応、こういった業務を少しずつできる業務に



変えていく。三つ目は現場の作業、販売員などは実施できない業務として整理をします。そして、同じ職種を1人でしている場合は、職場とテレワークでする仕事を分けるとか、複数人いる場合はチームで分業して業務効率を上げるなどの工夫を行います。また、決めるべき運用ルールとしては、テレワーク対象者の条件、実施場所、事前申請、使用機器、労働時間管理方法、セキュリティ、身だしなみなどがあります。運用ルールの目的は、円滑にテレワークを行ない業務効率を落とさないこと、不満を持つ人が出ないようにすることで、まずは暫定ルールを決めて、次第にブラッシュアップしていくことです。就業規則の変更などについては、社労士さんに相談をされたらいいと思います。

弊社がテレワークに取り組んだ背景としては、最新のワークスタイルを提案する立場としては自社でやらないといけないのではないか。コロナウイルスに備えないといけないといったことがあり、ちょうど去年の2月にオフィスのリニューアルをしたのをきっかけに、一気にテレワークを進めることになりました。実際に取り組んだ成果としては、高知県ワークライフバランス推進企業認証や高知県働き方改革推進

キャンペーン奨励賞など、各種認証や受賞することで取材を受けることも多くなり、それが企業イメージの向上やPRにもつながっていったと思います。

最後に、テレワークは緊急事態対応ではなく業績UPの手段になると考え、まずはスモールスタートをして改善を繰り返していくことで、新しいワークスタイルに対する考え方の浸透が大事です。そして、会社の制度としてテレワークを実施することで、企業のブランディング、価値を高めていくことにもつながっていくのではないかと思います。テレワークが目的ではなく、生産性を向上させるためにテレワークに取り組むといった考え方で、今後、皆さまの企業でも積極的に取り入れていただけたらと思います。

弊社では、実際に自分たちが使っているツールなどを見ただけでショールームのようなオフィスをつくりましたので、事前にご連絡いただいでぜひご活用ください。また、弊社のホームページには、テレワーク導入に関しての助成金診断サービスと連携して、中小企業のテレワーク導入支援を行っています。詳細については、お気軽にお問い合わせいただければと思います。



◇ 例 会 変 更 ◇

高知東RC	3月17日	ロータリー休日(阪)	高知中央RC	3月18日	ロータリー休日(城)
高知北RC	3月22日	花見例会(三)	高知RC	3月23日	ロータリー休日(三)
高知南RC	3月25日	花見例会(阪)	高知中央RC	3月25日	花見夜間例会(城)
高知北RC	3月29日	ロータリー休日(三)	高知ロイヤルRC	3月30日	ロータリー休日(旭)
高知南RC	4月 1日	植樹例会(阪)	高知西RC	4月 2日	ロータリー休日(三)
高知ロイヤルRC	4月 6日	ロータリー休日(旭)	高知中央RC	4月 8日	夜間例会(城)
高知西RC	4月 9日	夜間例会(三)	高知北RC	4月26日	ロータリー休日(三)
高知ロイヤルRC	4月27日	夜間例会(旭)	高知東RC	4月28日	ロータリー休日(阪)
高知西RC	4月30日	ロータリー休日(三)			

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

😊 **ニコニコ箱**

西山 俊彦 久し振りに週報に写真を載せていただきました。

吉村 貴志 12月の家内の誕生日のお花のお礼です。1月の例会中止でニコニコすっかり忘れていました。改めましてありがとうございます。

安光 保二 妻の誕生日にキレイなお花ありがとうございます。おかげさまで、穏やかな日々を過ごしております。

川崎 敦子 (本年度会計) 昨年からのコロナの影響で高知ロータリー例会の休会も多くニコニコ箱の財源不足となっています。小さな喜びも皆でニコニコすると倍増するはずです。皆さまのご協力を賜りたいと存じます。よろしく願います。本日のゲストスピーカーの岡村文具の森本さんには、弊社の什器備品の折に大変お世話になりました。テレワークの講義もあと1回、しっかり取り組みます。岡村社長のご来訪も併せてニコニコします。



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	マイキャップ	出席率
3月 9日	(-9)87	58	18	2	77%
2月23日	祝日のため休会				

● 累計額 [3月9日現在]

ニコニコ箱	557,000円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	127,975円	ポリオ募金	168,000円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [3月23日]

ロータリー休日

◆ 3月30日のプログラム 新入会員スピーチ  
 明治安田生命保険相互会社 高知支社長  
 森田 啓介 会員

創 立 昭和12年10月  
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階  
 TEL(824)8660 FAX(824)2529  
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
 HPアドレス http://www.221.ne.jp/kochirc/